

障がいとアート展覧会 於 奏楽堂

12月3日 | 土 | - 4日 | 日 | 13:30 - 16:45 (予定)

- 特別支援学校との共同制作「かいじゅう」
- 台東区特別支援学級・横浜市盲特別支援学校による作品
- ダウン症書家・金澤翔子の作品
- 社会福祉法人愛成会 アトリエぱんげあによる作品
- アール・ブリュット作品
- パラリンアートによる作品 ほか



表紙作品の制作風景 (社会福祉法人愛成会 アトリエぱんげあでの障がいとアート受講生によるワークショップ)

藝大アート・スペシャル 2016

2016年12月3日 | 土 | - 4日 | 日 |
東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

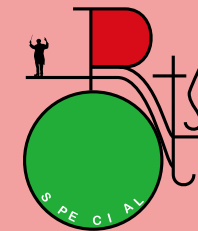
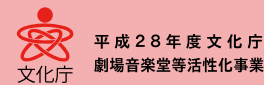
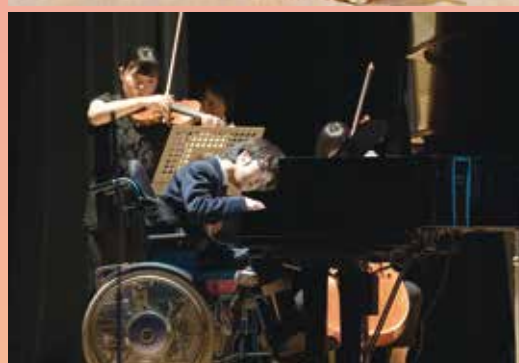
交通のご案内

- JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線 根津駅より徒歩10分
- JR上野駅・上野公園から[東京芸術大学経由] 2
- 京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」 [5-1] 東京芸術大学下車 [30分間隔]



- ・満席の場合をご入場いただけないことがありますので、予めご了承ください。
- ・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- ・駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・申し込み不要です。

昨年度の「藝大アート・スペシャル」の様子



GEIDAI ARTS SPECIAL 2016

藝大アート・スペシャル 2016 障がいとアート



東京藝術大学
奏楽堂(大学構内)

入場無料
[申し込み不要]

コンサート・ワークショップ

12月3日 | 土 | ワークショップ「わたしだけのノートづくり」※先着30名
アート・スペシャル コンサート
・ミュージック・イン・ザ・ダーク
・チリから障がいのあるアーティストを迎えて
・障がいを超えるダンス「Note -わたしの物語-」

12月4日 | 日 | プレトーク
「障がいを超えるファッション」
メイン・コンサート
「聞こえる色、見える音」

障がいとアート展覧会

12月3日 | 土 | - 4日 | 日 |

- 主催: 東京藝術大学、東京藝術大学演奏芸術センター、東京藝術大学COI拠点
- 協賛: 株式会社井上総合印刷、株式会社協和 KYOWA、中川特殊鋼株式会社 NSSI
- 技術協力: ヤマハ株式会社 YAMAHA
- 協力: 社会福祉法人愛成会、青山学院大学総合文化政策学部音楽マネジメント・ラボ、新生紙パルプ商事株式会社 SPP
台東区手話通訳者の会、筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科、筑波大学附属聴覚特別支援学校、東京都視覚障害者生活支援センター
東京都立八王子特別支援学校、バリアフリー協会、公益財団法人ベネッセこども基金、横浜市立盲特別支援学校
- 後援: 一般社団法人障がい者自立推進機構 Paralympic Art、台東区、東京都教育委員会、公益財団法人日本ダウン症協会
- お問い合わせ: 東京藝術大学演奏芸術センター Tel. 050-5525-2465 Mail arts.special@ml.geidai.ac.jp

東京藝術大学主催「藝大アーツ・スペシャル」では、障がいを持つ方々と分け隔てなく楽しむことの出来る空間を提示し、現代社会に適した芸術の可能性を探求しています。6回目となる今回は、障がいのある音楽家をチリから招き、また、世界的ヴァイオリニスト和波孝禧のもと、視覚障がいの演奏家と東京藝術大学学生による室内合奏団を結成します。同時に、特別支援学校と共同制作を行った成果を奏楽堂の舞台上で発表するほか、ワークショップや展覧会も開催します。メイン・コンサートでは、映像と音楽のコラボレーションや、特別支援学校生がベートーヴェン《第九》の合唱に参加するほか、障がいのある方々にオーケストラの中に座っていただき、音楽の振動を体感します。障がいのある芸術家から受ける感動は、すべての人々に生きる力と勇気を与えてくれます。



昨年度メイン・コンサートの様子



12月3日
[土]

12:00-13:30
奏楽堂ホワイエ

定員: 30名 ※先着順
当日11:45より奏楽堂
入り口にて受付開始。

ワークショップ
「わたしだけのノートづくり」

本学演奏芸術センター開設授業「障がいとアーツ」受講生による企画。完成した作品は、障がいを越えるダンス「Note-わたしの物語-」の舞台セットとなり、公演を彩ります。



昨年度ワークショップの様子

アーツ・スペシャル コンサート

◇ミュージック・イン・ザ・ダーク -オール・バッハ・プログラム-
～ヴァイオリニスト和波孝禧アンサンブル

視覚障がいの演奏家と藝大教員・学生によるチェンバー・オーケストラ公演。舞台上を真っ暗闇にし、五感を研ぎ澄ませてお互いの音楽を聴き合いながら、全員が暗譜でアンサンブルします。

—プログラム—

J.S.バッハ《無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番》より〈シャコンヌ〉、
《ブランデンブルク協奏曲 第5番》、《G線上のアリア》

出演

ヴァイオリン・指導 和波 孝禧
フルート 綱川 泰典
チェンバロ 伊藤 一人 (本学古楽科教育研究助手) ほか



ヴァイオリン: 和波 孝禧



みんなのダンス・フィールド

◇チリから障がいのあるアーティストを迎えて

◇Note-わたしの物語-

障がいを越えるダンス ～「みんなのダンス・フィールド」を迎えて
本学演奏芸術センター開設科目「障がいとアーツ」受講生が演出・音楽・美術を担当し、障がいの有無を問わず多様な身体性を生かしたグループ「みんなのダンス・フィールド」と共に創り上げる、迫力のパフォーマンス。

司会: 新井 鷗子 (本学COI特任教授)

14:00開演
(13:30開場/16:00
終演予定)
奏楽堂ホール



昨年度ミュージック・イン・ザ・ダークの様子



フルート: 綱川 泰典



チェンバロ: 伊藤 一人

12月4日
[日]

14:00-14:20
(13:30開場)
奏楽堂ホール

プレトーク
「障がいを越えるファッション」

ゲスト: コシノ ジュンコ ほか



コシノ ジュンコ

14:30開演
(16:10終演予定)
奏楽堂ホール

メイン・コンサート
「聞こえる色、見える音」

音を映像化し、音楽を肌で体感するコンサート。
障がいを越えて共に、歌い奏でよう!

—プログラム—

ロッシーニ: 歌劇《ウィリアム・テル》序曲より〈スイス軍の行進〉
グリーグ: 《ペール・ギュント》組曲より〈朝〉ほか
ベートーヴェン: 《交響曲第9番》より第2楽章、第4楽章 (抜粋)
J. シュトラウス二世: 《春の声》
A. ゴドイ: 《天使と蚊》、《娘と息子》

出演

書 金澤 翔子
指揮 田中 祐子
管弦楽 藝大フィルハーモニア
筑波大学附属聴覚特別支援学校
合唱 東京都立八王子特別支援学校
筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科 ほか
ソプラノ 橋本 夏季
ギター アンドレス・ゴドイ
映像 桐山 孝司 (本学大学院映像研究科教授)
美術 台東区特別支援学級 (柏葉中学校、
金竜小学校、蔵前小学校、松葉小学校)

ヤマハの技術協力により聴覚障がいの演奏を支援

司会: 松下 功 (本学副学長)



書: 金澤 翔子



指揮: 田中 祐子



ギター: アンドレス・ゴドイ



ソプラノ: 橋本 夏季